



白熱する頭脳戦で汗を流す出場者の皆さん

## ゲートボール・各試合が熱戦に 熟練者たちがしのぎを削る

第24回くずまき高原牧場杯ゲートボール大会が9月2日、もく・木ドームで開催され、全6チーム約30人の選手が出場しました。

競技では各選手の熟練されたプレーが光り、どの試合も熱戦に。声を掛け合いはつらつとしたプレーが多く見られました。五日市チームの主将を務めた古館長一さん（五日市）は「気持ち良くプレーできた。たくさんの人と交流できるのが楽しい」と笑顔を見せました。競技の結果は小田球友会が優勝を果たしました。



実際にインタビューに挑戦する参加学生の2人㊤

## インターンシップに大学生が参加 広報くずまき制作業務に挑戦

令和8年度町キャリアデザインプログラムが8月24日から28日の5日間実施されました。

「まると公務コース」に参加した大学生2人は8月27日、広報くずまきの制作業務に挑戦。取材と記事編集を体験し、学生からは「限られた文字数で伝えること、漢字の使い分けが難しかった」との感想がありました。

2人の学生が取材と編集を行った記事は、本号26ページの「いらっしやい葛巻通信」に掲載しています。

## 五日市小創立150周年記念講演 子どもの未来を育む本の魅力

第2回の「夢・希望フォーラム」が9月9日、五日市小学校で行われ、約40人が参加しました。

同校卒業生で㈱盛岡書房代表の高館美保子さんが、本の循環により子どもの成長などを支える「象と花プロジェクト」について講演。「自分の頭で考えられる大人になるためにたくさん本を読んでほしい」と児童に呼び掛けました。図書委員会からは高館さんへ記念品などが贈呈され、栗村陽菜さん（6年）は「これからたくさん本を読みたい」と感想を述べました。



プロジェクトへの思いなどを児童たちに語る高館さん

## 県と町、町内建設業者の合同研修会 クマ被害への対策を学ぶ

建設業におけるクマ対策研修会が8月27日、くずま〜るで行われ、建設業者の職員など約70人が参加しました。

県内初の官民共同での研修会では、県のクマ対策の専門研究員が生態や遭遇時の対応について説明。建設資材などを扱う業者からは、音や光を放つ対策グッズが紹介されました。大屋根広場では、クマ撃退スプレーの噴射訓練も行われ、参加者は山間部での作業時のリスクなどを想定しながら熱心に励んでいました。



クマに見立てたパネルへスプレー噴射訓練を行う参加者



オンラインを活用した国語の授業でグループ学習を行う様子

## オンライン活用で遠隔交流学習 新たな学びで主体性を伸ばす

町内4つの小学校合同での遠隔交流学習が9月14日、3年生児童を対象に行われました。

遠隔学習は小規模校同士がオンライン会議システムを活用し、学習の質の向上などを促すことを目的に実施。この日は五日市小学校での国語の授業で交流学習が行われ、音読やグループ学習で児童の対話性を磨く学習が行われました。上野朝終さん（五日市小）は「緊張したが他の学校の児童と話せて良かった」と満足した様子で遠隔授業を振り返りました。



土砂救出訓練に取り組む町消防団員の皆さん

## 地域の防災意識の高揚へ 実践的な訓練で災害に備える

町総合防災訓練が8月30日、町高齢者福祉センターで行われ、各地区の自主防災隊や町消防団員らが参加しました。

訓練では大雨による洪水、土砂災害を想定し、自主防災隊による避難所運営や消防団員が行う火災防御訓練などを実施。実践的な訓練を身をもって体験し、万が一に備える防災力を身に付けました。閉会式で鈴木重男町長は「地域の防災意識の高揚に向けて永続的に訓練に励んでほしい」と訓練の重要性を呼び掛けました。